

RANDO STYLE



R56クーパーS インテリア同様ブラック×レッドでまとめたエクステリアには、エアロテックジャパンのフルエアロを装着。レースのPCスピリットは、スポークセンターをペイントしユニオンジャック風にアレンジ。



ヘッドユニットに場所を奪われたセンターメーターは、助手席前へと移動される。
ダッシュセンターに突き出したセンタースピーカーは、ファッション性も抜群。

赤×黒のアルカンターラで質感と高級感を一気に高める



リアシートを潰し大容量を確保したウーファーボックスには、プロセッサーもインストール。
リアスピーカーのミッドレンジは左写真のボックスに、ツイーターはCDピラーに埋め込まれる。



サイドブレーキまわりのパネルも、赤のアルカンターラで張り替えて、質感と高級感を演出。

インテリアのプロに聞いた Shape

カスタムカーオーディオ&セキュリティ・シェイプ

- 住所：大阪府高槻市西西北1-12-1
- tel.0120-51-3760
- 営業時間：10：00～20：00 ●定休日：木曜日



SPEC

●インテリア：インパネもドア内張りもセンターコンソールも天井/アルカンターラ張り替え、メーター移設、シート/張り替え、ヘッドユニット/アルパインF1-7990J、イコライザー/アルパインH92002、アンプ/オーティソンTH X3、スピーカー/フォーカルBe.k17



天井にも赤のアルカンターラを投入。インテリアにストック状態のシートはひとつもなし。

アルパインのF1#ステイタスをコアに高級オーディオを惜しみなく投入

ラゲッジも大層にカスタムされ原型はとどめていない。見える部分はすべてレッドのアルカンターラに張り替えられ、そこにオーディオのパワーアンプ3機が搭載。昼間はわかりにくいアンプの上には打ち込んだ文字が流れるLEDの電光掲示板を設置。



ここに注目!! 加工ポイント interior make

センターメーターを捨てモニターを埋め込み加工

エアロテックジャパンのボディキットをまとい、ブラック×レッドでまとめたミニ。ブラック×レッドと同様、ブラック×レッドでフルコーディネートされたインテリアは、カーオーディオのプロショップ「シェイプ」が製作を担当。インテリアはシートから天井、ドアパネル、ダッシュボードに

プロから学ぶ最新テクニック
PRO SHOP FILE01
Shape
[シェイプ]

カーオーディオのプロ「シェイプ」が手掛けた内装は高級素材アルカンターラでフル張り替えを実施。センターメーターの移設やウーファーボックスなどプロショップならではのサウンドメイクも必見だ。

たるまで、高級素材アルカンターラで張り替え加工。オリジナルを徹底して排除すべく張り替えられたインテリアに、プラスチックの質感は皆無。質感を高めるとともに、BMWのインディヴィジュアルモデルを彷彿させる、高級感を打ち出すことに成功している。

またインテリアのキモとなるオーディオは、アルパインのF1#ステイタスをコアに、アンプにはオーディオン、スピーカーにはフォーカルと、高級ブランドを惜しみなく使用。またミニの伝統でもあるセンターメーターは、ナビゲーションのモニター埋め込みのため、助手席前へと移設されているのもポイントだ。さらにLEDで浮かび上がるラゲッジのアンプや、そこからフロントシート直後までつながるウーファーボックスも圧巻。各部への小型モニター埋め込みや、ダッシュボード中央にマウントされたセンタースピーカーなど、遊び心も取り入れた作り込みは、さすがショーカーというほかないだろう。